

プラネタリウム利用案内

旬の話題

11月5日 今年最大の満月

その年最大の満月を、俗に「スーパームーン」と呼ぶことがあります。月の軌道は楕円形のため、月と地球の距離は近い時で約35万km、遠い時には約40万kmにまで変化します。近い時と遠い時では見かけの大きさ(直径)も14%ほど違うのです。2025年のスーパームーンは11月5日、大きく輝いて見える満月を眺めてみるのはいかがでしょうか。



©国立天文台

おすすめ!

プラネタリウム祭り

このとき限りの特別な
プラネタリウムが盛りだくさん!

日程 12月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

観望会のご案内

札幌市青少年科学館

★科学館天体観望会 【会場】科学館正面玄関前【お問い合わせ】☎011-892-5004 (科学館天文係)

日程 11月30日(日) 19:00~20:00 観望対象 月、土星、秋から冬の星座

札幌市天文台

【住所】中島公園内(コンサートホールKitaraと豊平館の間)

【休台日】11/4・10・17・25、
12/1・8・15・22・29・30・31

【お問い合わせ】☎011-511-9624 (札幌市天文台)

★昼間公開

日程 火曜日 10:00~12:00
水曜日~日曜日 ①10:00~12:00
②14:00~16:00
※月曜日は休台です。

観望対象 太陽、昼間に見える星

○直接札幌市天文台へお越しください。混雑時は順番に中へご案内いたしますので、天文台の外でお待ちいただく場合があります。
○雨天・曇天時は観望は行いませんが、天文台を公開し天文に関する質問対応や解説を行います。荒天時には質問対応等も中止になる場合があります。



★夜間公開

11月の日程 ①11月5日(水)
②11月7日(金)、8日(土)
③11月28日(金)~11月30日(日)
18:00~20:00

観望対象 ①スーパームーン、土星
②土星、秋から冬の星座
③月、土星、秋から冬の星座

12月の日程 12月5日(金)~12月7日(日)
18:00~20:00

観望対象 土星、秋から冬の星座

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説+プラネタリウム番組です。

プラネタリウム入場時刻【11・12月】 ※11/15・18の3回目は字幕付きの投影となります。※11/20の1回目は「キッズプラネタリウム」を投影します。
※12/6・7・13・14は「プラネタリウム祭り」のため、別プログラムとなります。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11月	平日 10:15 団体優先 ※番組は団体の希望による	11:30 団体優先 (ドラえもん)	12:45 団体優先 (オーロラを見たい猫)	14:00 おばけのマーベル	15:15 ダークユニバース
土・日・祝	10:15 おばけのマーベル	11:30 ドラえもん	12:45 オーロラを見たい猫	14:00 ながれぼしのひみつ	15:15 全編生解説プラネ
12月	平日 10:15 団体優先 ※番組は団体の希望による	11:30 団体優先 (おばけのマーベル)	12:45 団体優先 (ながれぼしのひみつ)	14:00 ドラえもん	15:15 全編生解説プラネ
土・日・祝	10:15 ドラえもん	11:30 おばけのマーベル	12:45 オーロラを見たい猫	14:00 ドラえもん	15:15 ダークユニバース

プラネタリウム番組

おばけのマーベルと
ゆめのとびら

当館
オリジナル
番組

【おすすめ】
ちいさなお子さまと保護者

30分画(アニメーションと星のおはなし)

「おばけのマーベル」がプラネタリウムにやってきた!

オーロラを見たい猫
~虹色のカーテンを追いかけて~

当館
オリジナル
番組

【おすすめ】
小学校低学年以上

50分画(番組20分・解説30分)

オリジナル番組最新作!2匹の猫とオーロラを探しに行こう!

サイエンジャーと
ながれぼしのひみつ

当館
オリジナル
番組

【おすすめ】
小学校低学年以上

50分画(番組15分・解説35分)

流れ星ってどんなもの?仕組みや見るときのコツを紹介します。

プラネタリウム
ドラえもん 宇宙の模型

【おすすめ】
小学生以上

50分画(番組30分・解説20分)

ドラえもん、のび太、しずかちゃん、ジャイアン、スネ夫と一緒にみんなで宇宙を見に行こう!

ダークユニバース

【おすすめ】
小学校高学年以上

50分画(番組30分・解説20分)

ダークマターとダークエネルギーにスポットを当て、宇宙の謎にせまります。

全編生解説プラネ(テーマ:土星)

50分画(すべて生解説)

【おすすめ】小学生以上

当日の星空と11~12月のテーマ「土星」をたっぷりお届け。星空解説をたっぷり聞きたい方におすすめです。

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※発券終了は入場開始の5分後、開演は入場開始から10分後です。途中入場はできません。
※Tモード付き補聴器で、音声を拾うことができます。ご利用の際はチケット売場にてお申し付けください。

休館日 11/4・10・17・25・26、12/1・8・15・22・27・28・29・30・31 観覧時間 5月~9月 ... 9:00~17:00
10月~4月 ... 9:30~16:30
(入館は閉館の30分前まで)

観覧料

	大人	高・大学生※1	手帳をお持ちの方※2	中学生以下
展示室	800円	400円	570円	無 料
プラネタリウム	550円	250円	400円	※観覧券が必要
セット観覧券	1,100円	550円	970円	

当日券のほか、オンライン予約をご利用いただけます。
※1 当日券のみ、生徒手帳・学生証等をご提示ください。 ※2 当日券のみ、障害者手帳およびアプリ「ミライロID」のご提示、もしくは65歳以上の方。
※その他、回数券、年間バスポート等あり。詳しくはホームページをご確認ください。

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)



〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20
TEL)011-892-5001 FAX)011-894-5445 【ホームページ】https://www.ssc.slp.or.jp



2025年11・12月号 Vol.119

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット

星空散歩

H O S H I Z O R A S A M P O



今回の表紙写真は...皆既月食...

アンケートのお願い

2025年9月8日の皆既月食です。周囲に写っているのはみずがめ座の星たちです。次回は2026年3月3日に皆既月食が起こります。夜の早い時間で観察しやすいので、ぜひ見てみてください。

よりよい誌面を作るため、みなさんの声をお聞かせください。



撮影者:札幌市青少年科学館 奥塚浩史 撮影日:2025年9月8日 3時7分 撮影地:北海道河東郡士幌町
機材等:カメラ【CanonEOS6D、露出2秒、ISO400】、望遠鏡【有効径80mm F12.5(焦点距離1,000mm)、MARK-X赤道儀】

2025年
11・12月号

星図 12月1日21時
で作成

冊

北

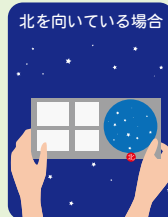
南

季節の星のたどり方

秋から冬にかけての夜空には、「秋の四辺形」や「冬の大三角」といった星探しの目印が登場します。西の空には「秋の四辺形」が、夜が更けると東の空には「冬の大三角」が見えてきます。冬の星座の中でもオリオン座は特に明るい星が多く、中心に並ぶ三ツ星と砂時計のような形が特徴で、明かりの多い街でも見つけやすいです。今年は土星や木星も加わり、いっそうにぎやかな星空が広がります。

星図の 使い方

- ①星図は空にかかげて使います。
- ②空にかかけたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

11/1 23時ごろ

12/1 21時ごろ

※惑星の位置は変化するため、12/1の位置を示しています。

月のかたち

● 満月 11/5、12/5
● 下弦 11/12、12/12
● 新月 11/20、12/20
● 上弦 11/28、12/28

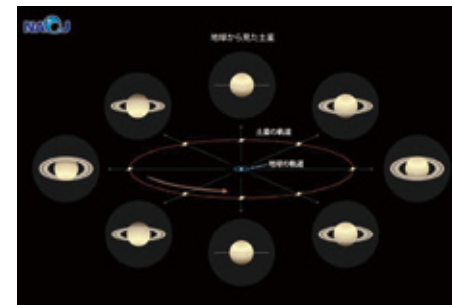
- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

旬の話題

土星の環

土星の特徴といえば大きな「環」があることですが、今年はその環が見えにくい時期です。これは地球と土星の位置関係が、ちょうど環を真横から見る位置に来ているからです。

11月25日には環がほとんど見えなくなります。肉眼では明るい星と同じように見えますが、望遠鏡を使うと環の傾き方も観察することができます。こうして環が見えなくなるのは約15年に一度。ぜひ土星らしくない土星の姿を見てみてください。



©国立天文台 天文情報センター

星座のおはなし

ぎょしゃ座のおはなし

将棋の駒のような五角形が特徴のぎょしゃ座は、紀元前2000年ごろのバビロニア時代から描かれていた、とても古い星座の一つです。「ぎょしゃ」とは馬車などの運転手のことを言い、ギリシア神話に登場するアテナイ王のエリクトニウスがモデルと言われています。彼は生まれつき足が不自由でしたが、自分で発明した戦車(馬車)に乗って戦場を勇敢に駆け巡りました。その活躍が神に認められ、天に上げられて星座になったと言われています。



みつけかた

ぎょしゃ座を探すときに一番の目印となるのは、一等星のカペラです。近くにはおうし座のアルデバランやふたご座のポルクスといった他の一等星も見つけることができますが、より天の北極に近い位置で輝いているのがカペラです。

● 11月…21時ごろ 東の空 ● 12月…21時ごろ 東の空